

Change
Challenge
Chance

変える・挑戦・好機

古河市立総和中学校

進路通信 NO1

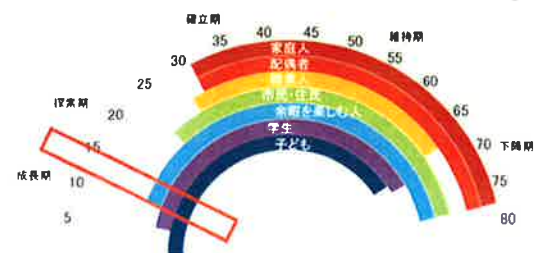
令和2年6月19日

Change Challenge Chance

中学校時代は、夢や希望にあふれる時期でもあります。些細なことでも不安や悩みを抱え、先が見えなくなってしまう時期でもあります。特に、3年生になると、今からでは遅いのではないかと感じる生徒もいます。「やってみよう」と思ったときがスタートだと考えます。ちょっとした考え方の転換(Change)がやる気(Challenge)を生み出し、いい結果(Chance)につながるようなヒントになるような情報を提供していきたいと思います。

さて、「進路はどうする？」と生徒に尋ねると、「〇〇高校に行きたいです。」と返ってくる人が多いです。これは、自分の長い人生のうちで中学校時代を抜き出した考え方です。もちろん高校進学に関する情報が一番知りたいことだとは思いますが、ですが、これからの人生を力強く生きていくためには、「社会の変化に対応し、様々な問題を主体的に自己解決していく力を付ける」ことが大切です。常に夢や目標をもって進むことができるとは限りません。悩み、迷い、時には感情を抑えきれず怒ることだってあるでしょう。また、今後みなさんの前には壁が立ちはだかることでしょう。そんな時、意識や考え方をプラスに変え、迷いながらも挑戦し、壁を越えるチャンスできる力を付けていってほしいと強く願います。

ライフキャリアレインボー



左の図は米国のD・Eスーパーが提唱したキャリアレインボーです。「人間は、仕事に限らず、趣味や地域活動、親としての役割などさまざまなキャリアを虹のように積み重ね、複数のキャリアを使い分けながら暮らしている」という考え方です。

この図のように、ライフキャリア・レインボーは、5つのライフステージと7種類のライフロール

、そして年齢で表されます。5つのステージとは、成長期、探索期、確立期、維持期、下降期です。7種類のライフロールとは、子ども、学生、余暇を楽しむ人、市民・住民、職業人、配偶者、家庭人です。図のライフロール全てを経験する人、一部分を経験する人など、人によってライフロールの数は異なります。また、ライフロールの年齢や重点度なども人によって様々です。

中学生の時期(13～15歳)は、成長期です。身体の発達だけでなく思考の概念が形成される時期です。さらに自己への興味・関心や能力に関する探究を行い、仕事に関する空想や欲求が高まり、職業に関心を寄せる時期です。ライフロールとしては、子ども・学生・余暇を楽しむ人としての役割の中で、生活しています。その後は市民としての責任や職業人として適正・技能などが求められるようになります。ですが、仕事上の能力やスキルだけでキャリアが構築できるものではなく、他のライフロールと相互に影響し合います。

親世代の40代50代は多くの役割が重なり合う年代です。「職業人」として仕事での責任の重さ、「子ども」として親の介護、「親」として子どもの教育など、それぞれの役割が重く、調整が難しくなります。身近な人をイメージして、考えてみるのもいいですね。

令和2年度 古河市立総和中学校 入試スケジュール

月	主な学校行事	進路関係	進路に関わる活動の目安
6	・部活動見学(6/10) ・仮入部(6/11～16) ・正式入部(6/17) ・第1回実力テスト(6/19)		○二者面談の実施(随時) ○学校説明会への申込み(私立は各自で申し込み)
7	・第2回実力テスト(7/6) ・二者面談(7/13～) ・教育相談(7/31～8/7)	・第1回進路希望調査(7/6) ・茨城県立公立学校の学校説明会(今年度中止) ・私立高等学校の説明会(各高校) ・ビデオによる進路説明会(教育相談期間中)	○学校説明会等への参加 ・学校の特色の他、実際に通学できるか、費用の面等もチェックが必要
8	・夏季休業日(8/8～8/16)	・私立高校説明会(各高校)	○学校説明会等への参加
9	・第3回実力テスト(9/2) ・体育祭(9/12)予定 ・修学旅行(9/23～25) ・5科定期テスト(9/30)	・第2回進路希望調査(9/2) ・私立高校(個別相談等)	○受験を考えている高校の説明会や体験入学等への積極的な参加 ・私立高校では、個別相談により出願するコースや方法など、具体的なアドバイスあり
10	・第4回実力テスト(10/1) ・4科定期テスト(10/5) ・新人県西大会(10/9,10) ・息吹祭(10/24)予定 ・通知表配付日(10/30)	・第1回進路対策委員会(10月中旬) ・私立高校(個別相談等)	
11	・第5回実力テスト(11/2) ・教育相談(11/12～20)	・第2回進路説明会(11月初旬) ・第3回進路希望調査(11/2) ・第2回進路対策委員会(11月中旬) ・特色選抜受験希望調査(茨城県立、栃木県立希望者) ・小山高専推薦受験希望調査 ・私立高校受験校決定	○教育相談 ・受験する私立高校の決定(単願、併願どちらも) ・願書等の準備 ○高校への説明会等への積極的な参加
12	・第6回実力テスト(12/4)	・私立高校出願開始	○公立高校志望者の受験校再検討
1	・第7回実力テスト(1/12) ・学年末テスト(1/15) ・教育相談(1/20～27)	・第4回進路希望調査(1/12) ・第3回進路対策委員会(1月中旬) ・ <u>小山高専(推薦)出願(12/19～24)</u> ・ <u>(一般)出願(1/28～31)</u> ・ <u>小山高専(推薦)入試(1/18)</u> ・ <u>発表(1/24)</u> ※小山高専は昨年度の日程 ・私立高校入試、発表、手続き ・公立高校受験校決定(願書作成)	○私立高校の受験 ○三者面談 ・受験する公立高校の決定 ・願書作成
2	・第8回実力テスト(2/3)	・栃木公立(特色)出願(2/1,2) ・栃木公立(特色)面接等(2/8,9)、発表(2/15) ・茨城公立出願(2/8,9,10) ・茨城公立志願先変更(2/17,18) ・埼玉公立出願(2/15,16) ・埼玉公立志願先変更(2/18,19) ・栃木公立(一般)出願(2/19,22) ・栃木公立(一般)志願先変更(2/25,26) ・ <u>小山高専(一般)入試(2/16)、発表(2/20)</u> ・埼玉公立学力検査(2/26)	○各自の受験に向けて、勉強に力を入れる
3	・通知表配付日(3/10) ・卒業証書授与式(3/11)	・埼玉公立実技・面接(3/1)、発表(3/8) ・茨城公立学力検査(3/3) ・〃(特色)実技、面接(3/4) ・〃(特色)発表(3/12) ・栃木公立(一般)学力検査(3/8)、発表(3/12)	○中学校卒業後の進路の決定 ○二次募集(必要に応じて)

※新型コロナウイルス状況により日程の変更もあります。
※下線部の小山高専は昨年度の日程です。今年度も同時期の日程と考えられます。

進路先の種類を理解しよう

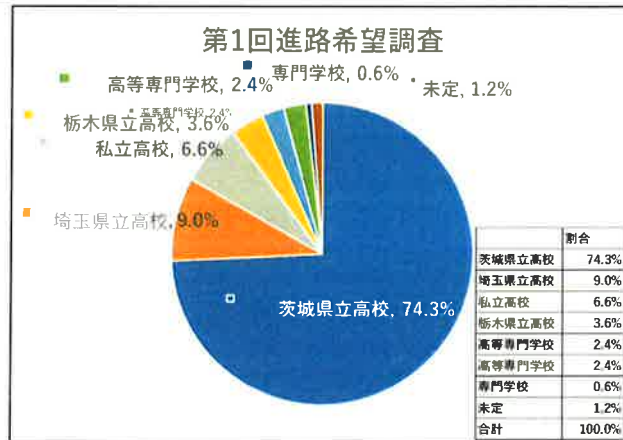
教育相談が終わり、3年生にとっては自分の進路を実現するために、学校説明会や部活動体験に参加する生徒が増えています。右のグラフは3年生による「第1回進路希望調査」の結果です。ほとんどの生徒は茨城県立高校を第1志望としています。さらに埼玉県立高校、私立高校、栃木県立高校、高等専門学校、専門学校と続いて、ほぼ全員が進学を希望しています。

進学先を決定するには学力も大切ですが、点数だけで決めてしまうのは誤りです。毎年、せっかく高等学校に進学した

のに、自ら辞めてしまう卒業生が少なからずいます。理由を聞いてみると、「友達関係がうまくいかない」「学校の雰囲気が合わない」「勉強がついていけない」というのが大半を占めます。これらのことは、どこの学校を選択しても起こりうる問題です。では、卒業までしっかりと高校生活を送るためには何が大切なのでしょう。それは、「将来の夢、目標がしっかりあるかどうか」のように思います。

これから生きていく上で、さまざまな困難にぶつかります。それを乗り越えるエネルギーになるのは「夢」「希望」であると考えます。だからこそ、進路選択という岐路に立った今、それを第一に考え、自分にあった選択肢を絞っていった欲しいのです。

さて、進路を選択するために、自分の夢をしっかり持つと共に、進路についての正確な知識をしっかり身につけて下さい。進路説明会の資料にも掲載しましたが、進路に関する情報を提供していきます。保存して繰り返し読み、おうちのひととの話し合いの材料にしてください。まずは、中学校卒業後の進路の種類についてお知らせします。



進路の種類

1 就職

職業安定所を通しての求人がほとんどなく、縁故関係から見つけているのが現状です。

例) ○○工業, ○○会社,

※ 就職とアルバイトの違い…アルバイトは時給または日給など短期間の雇用。将来的な保障はありません。就職は、入社から退職までの期間、会社側に雇用責任が課せられ、社会保険や有給休暇、扶養手当など生活が安定するための保障がされている。また、長期雇用のため、昇格、昇給もある。

2 就職しながら進学（定時制高等学校、通信制高等学校など）

修学年限は通常3年から4年です。定時制は毎日夕方5時から9時ころまで授業が行われる学校が多いですが、午前の部・午後の部を設置している学校もあります。通信制は週1～2日、また月に1～2日程度のスクーリングを受ける学校が多いです。それ以外に自主学習でレポートの提出な

どを行います。

例) 定時制・・・古河第一高等学校, 結城第二高等学校 等
通信制・・・水戸南高等学校, KTC あおぞら高等学院 等

※ 働きながら高校卒業の資格をとることを目的として集まってくるため、幅広い年齢層の学生たちが通学しています。

3 高等専門学校

高等専門学校は、修業年限は5年で、高校の工業科をさらに専門的にした国立の学校です。専門教育が重視されるが、一般科目も並行して学びます。

例) 小山工業高等専門学校, 茨城工業高等専門学校

※ 短大と同様の「準学士」の資格がとれる。
技術科学大学, 東京大学工学部等の4年制大学への編入学もできる。

4 専修・各種学校

専修学校、各種学校はそれぞれの定められた設置基準を満たし、各都道府県の認可を受けた主に私立学校をいう。福祉、調理、美容など専門的で個性的な内容を学習できる。

例) 晃陽学園, TBC学院 等

5 高等学校（全日制）

修業年限は3年です。普通科・専門学科（工業・商業・農業等）・総合学科など多様な学校が設置されていて、自分にあった学校を選択することができます。大別して公立と私立があります。

(1) 公立高校・・・県立, 都立, 市立, 地方自治体が設置しているのが公立高校です。古河市では、茨城県以外の隣接学区のある埼玉県, 栃木県, 群馬県, 千葉県の一部の公立高校を受験することが可能です。費用は、私立高校に比べると随分安いのですが、入学金5,650円, 年間授業料118,800円などの他、教科書、制服などで入学手続き時の経費は約20万円になります。

総和中学校から受検できる主な公立高校

〔茨城公立〕

古河第一, 古河第二, 古河第三, 総和工業, 境, 三和, 八千代, 下妻第一, 下妻第二 等

〔埼玉公立〕

不動岡, 鷲宮, 栗橋北彩, 久喜, 久喜北陽, 春日部, 春日部女子, 春日部東, 春日部工業 等

〔栃木公立〕

栃木, 栃木女子, 石橋, 小南城南, 小山南, 小山, 真岡 等

※ 公立高校普通科の合格結果については、必ずしも男子50%, 女子50%とはなりません。

※ 総合学科のある高校がいくつかあります。この学科の特徴は、自分の希望や特性に合わせて自分で授業科目を選択できるという点にあります。（主に2年生から）

(2) 私立高校・・・創立にあたって、各学校で教育方針や宗教関係などに特色をもたせています。そして、学校行事などにその特色が反映されています。また、短大, 附属大学などをもつ高校も多くあります。私立高校に入学した場合、授業料や入学金などの納付金は、初年度で80万円前後程度が見込まれます。

〔栃木県〕・・・白鷗大学足利高校, 國學院栃木高校, 佐野日本大学高校, 作新学院高校, 宇都宮短期大学附属高校, 佐野清澄高校, 文星芸術大学付属高校, 宇都宮文星女子高校

〔埼玉県〕・・・花咲徳栄高校, 昌平高校, 埼玉栄高校, 開智未来高校 等

〔茨城県〕・・・岩瀬日本大学高校, つくば秀英高校, 常総学院高校 等